

松市環放第 14 号
平成 24 年 6 月 28 日

東京電力株式会社
代表執行役社長 廣瀬直己様

松戸市長 本郷谷健



放射能問題に関する要求

東京電力福島第一原子力発電所において発生した事故により、千葉県東葛地区において高い数値の放射線量が検出された。こうしたことから、昨年より千葉県東葛地区は、「ホットスポット」と呼ばれ、市民の身の回りの放射能への不安は、大変大きいものがある。

本市では、子どもの安全確保や放射能に対する不安払拭を図るため、空間放射線量の低減対策をはじめ、食品に関する対策、廃棄物処理に関する対策、健康に関する対策等を事故直後から現在に至るまで、多大な労力及び費用を費やし取り組んできたが、この取り組みは、本来事故の原因者である貴社が対処すべきものと思慮される。

今回、貴社に請求する金額は、あくまでこれらの施策に要した費用の一部に過ぎず、このほかには市民の不安拡大・風評被害・地価の下落や人口減少への影響・事業活動への影響など計り知れないものとなっており、本市が被った被害は甚大である。

については、市民の安全・安心を確保するため、下記について強く要求する。

記

- 1 事故の原因者として、市民に対して謝罪すること。
- 2 その謝罪の気持ちを、市民にわかりやすく行動で示すこと。
- 3 今回の請求に対して、最大限の誠意を示すこと。
- 4 放射能問題の全面解決に向けて、最善を尽くすこと。
- 5 今後このような問題を二度と生じさせぬこと。